

<解禁>

新聞:2月11日(火・祝)朝刊

ラジオ・テレビ・インターネット:2月10日(月)知事会見開始をもって

令和7年度 但馬県民局主要施策 (地域躍動推進費予算案)

令和7年2月 但馬県民局

令和7年度但馬県民局予算(案)の基本方針

豊かな自然、多彩な農林畜水産物に恵まれ、特色ある地場産業が根付き、受け継がれてきた伝統・文化に新しい息吹が融合する但馬地域において、3つの方針「多様な地域資源を活かした経済の活性化」「安心・安全で人と自然にやさしい生活環境の構築」「次世代につなぐ人づくり・地域づくり」を軸に施策を展開し、誰もが“住んでみたい 暮らし続けたい”と思う但馬の実現を目指す。

目指す姿

住んでみたい 暮らし続けたい 但馬



☆3つの重点項目☆

I 多様な地域
資源を活かした
経済の活性化

(予算額 87百万円)
→No. 3~No. 6

II 安全・安心で
人と自然にやさし
い生活環境の構築

(予算額 10百万円)
→No. 7~No. 9

III 次世代につ
なぐ人づくり・
地域づくり

(予算額 43百万円)
→No. 10~No. 12

I 多様な地域資源を活かした経済の活性化



豊富な地域資源を活用した観光の活性化

新規 1 但馬フィールドパビリオンへの誘客強化と連携促進 (3,514千円)

(1) 誘客促進のための仕掛けづくり

- ア ファームトリップの実施
- イ デジタルスタンプラリーの実施
- ウ FP情報発信イベントの実施

(3,514千円)



(2) FPつながりミーティングの開催

異業種のFPが互いに連携し、高め合い、自立自走していける場づくりを行い、持続的発展に向けた交流を促進

2 但馬の多彩な観光資源の魅力発信 (23,293千円)

(1) 多彩な観光資源の魅力発信

- ア 観光消費額向上に向けた着地型観光の構築推進
- イ 大阪・関西万博等を見据えたインバウンド誘客
- ウ 但馬ツーリズム情報の積極的発信

(2) サイクルイベントへの支援

但馬地域の豊かで魅力的な自然を最大限に活かすサイクルイベントへの支援を通じ、交流人口の拡大と地域経済の活性化を推進

(3) 二次交通の発展・充実

- ア 1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行
- イ 大阪・関西万博を見据えた地域内周遊の促進

3 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進 (11,340千円)

- (1) 山陰海岸ジオパーク推進協議会への支援
- (2) 山陰海岸ジオパークの受入環境充実の推進

大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受け入れ環境を充実させるための看板等を設置し、山陰海岸ジオパークの魅力国内外に発信

拡 4 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進 (4,250千円)

新規 (1) ガイド人材の発掘

「鉱石の道」等への来訪者向けガイド人材を発掘するため、住民を対象とした講座等を開催

(2) 「鉱石の道」稼ぐ仕組みの創出

「鉱石の道」への来訪者の増加を図るため、地域団体等が行う食や宿泊に関連した環境整備のほか、新たな視点のイベントプロデュース等「稼ぐ仕組み」を創出する取組に対して支援

(3) 地域団体への活動支援

I 多様な地域資源を活かした経済の活性化



山・海・里の恵みを活かした農林畜水産業の振興

拡 1 つながるたからじま農のブランド化推進 事業 (26,670千円)

(1) コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開

- ア 育む農法推進に係る課題解決のための技術実証
- イ 育む農法取組拡大に向けた生産条件整備
- ウ 更なる認知度向上や販路拡大等によるブランド強化
 - (ア) J A たじまが実施するPR活動への支援
 - (イ) 有機J A S等第三者認証の取得支援
- エ コウノトリ育む田んぼ塾の開催
- オ 育む農法拡大に向けた低コスト水利施設導入

(2) 但馬牛の生産基盤強化対策の推進

- ア 農業遺産「但馬牛」継承者の確保への受入体制整備
- イ 但馬牛耕畜連携流通システムの確立
 - (ア) 堆肥を活用した自給飼料の実証ほを設置
 - (イ) 稲わらを畜産農家に供給するシステムの構築
- ウ 美方郡産但馬牛の世界農業遺産活用
 - (ア) 農業遺産推進協議会（香美町、新温泉町、J A たじま、県等）によるプロモーション活動
 - (イ) 観光分野と連携して地域内外に情報発信



(3) 但馬産農水産物のブランド力向上

- ア 他産地との差別化に向けたPR
 - (ア) 販売店でのPR、地元での特設販売等（なしおとめ）
 - (イ) 展示会等への出展、販促活動への補助（美方大納言小豆、朝倉さんしょ）
- イ 生産安定・多収化・コスト低減に向けた技術開発と普及（たじまピーマン、なしおとめ、朝倉さんしょ、岩津ねぎ等）
- ウ 作付拡大への支援
 - (ア) 新規栽培等への経費補助（たじまピーマン、なしおとめ）
 - (イ) 技術習得への支援（なしおとめ、朝倉さんしょ）
 - (ウ) 優良種子確保対策への経費補助（美方大納言小豆）
 - (エ) 苗木確保対策（朝倉さんしょ）
- エ 有機農業等の推進
- オ 但馬産水産物の振興
 - (ア) 水産・加工・観光産業者が連携して行う但馬産松葉がいのPRなど、但馬水産物や水産加工品の認知度向上と販路拡大に向けた活動を支援
 - (イ) いか釣り漁業の経営安定に向けた操業試験の実施
 - (ウ) 藻場保全に向けた重点的なムラサキウニの採取・駆除の実施



(4) 農福連携を通じた特産物の生産拡大

- 管内の特別支援学校や障害者就労支援施設等と連携し、障害者の農業分野での就労促進と地域特産物生産の拡大

I 多様な地域資源を活かした経済の活性化



山・海・里の恵みを活かした農林畜水産業の振興

(5) 夜久野高原のブランド確立促進

「夜久野高原」という産地とその農業生産を支える土地改良施設の役割や歴史、地域の史跡・景観などを紹介するパンフレットを作成し、ブランド農産物とともに地域の魅力を発信

海業の推進による漁村地域の活性化（農林水産部）

- 人口減少や高齢化が進行する漁村地域の活性化のため、漁港施設を活用し、海や漁村が有する価値や魅力を活かした「海業」を推進
新温泉町の居組漁港において、実施計画の策定などの取組を支援

2 スマート農業技術の確立・定着・拡大

(1,150千円)

但馬地域の自然環境、ほ場条件や経営規模、作物別にマッチするスマート技術の実証



新規 3 生産者・生産団体等との交流を通じた但馬農林畜水産物の消費拡大促進事業

(2,000千円)

日本農業遺産の認定を受けた「岩津ねぎ」をはじめとする但馬ブランド農林畜水産物の消費拡大に向け、生産者・生産団体等が市町等主催イベントを活用して調理品等の紹介や販売を行い、消費者に「学び、体験して、知る」機会を提供

拡 4 但馬材素材生産強化・向上

(1,208千円)

(1) 資源循環型林業を担う人材の確保・育成

- ア 県立高等学校等での出前講座の実施や但馬地域等で開催される移住・就労相談会への出展
- イ 高性能林業機械等が活躍する林業の現場を見学できるバスツアーの実施

(2) 但馬型再造林モデルの実証

- ア 獣害忌避装置によるシカ出没検証手法の再造林地での導入可能性の検討
- イ ドローンを活用した再造林の省力化の検討
- ウ 架線集材による作業システム検討会の開催

(3) 但馬産原木の海外輸出の促進

多様な地域資源を活かした経済の活性化



地域経済を支える人材の確保・産業への支援

拡 1 但馬産業活性化の促進 (1,458千円)

新規 (1) 事業承継の取組の推進
事業承継や雇用の維持等による地域の活性化のため、芸術文化観光専門職大学等と連携を図り、円滑な事業承継に向けた行政の支援のあり方を検討

(2) 支援団体等の人材交流・連携強化事業

商工会議所・商工会等支援団体が合同で行う販路拡大等のための勉強会や先進地視察などの取組を支援

(3) 関係団体と連携した但馬企業の応援事業

- ア 但馬産業大賞による企業顕彰事業
- イ スタートアップ支援事業

拡 2 「但馬で働こう大作戦」の推進 (2,308千円)

(1) 高校生・大学生等に向けた情報発信事業

- ア 但馬企業研究会の開催
- イ 高校生への情報発信
- ウ 大学生等に対する情報発信



新規 (2) 就職・雇用支援機関等との連携
関係機関と連携し、外国人等多様な人材活用・確保に資するセミナーを開催

拡 3 新規就農者の確保・定着事業 (624千円)

(1) 農業体験

但馬地域外からの新規就農希望者に但馬の農業を知ってもらうため、たじま暮らしサポートBASE等と協力し、市町の移住・定住・就農支援施策と連携しながら、少人数による農業体験を実施

新規 (2) 次世代の担い手育成
経営的にも安定してくる就農6～10年目の生産者を対象に地域の農業経営士等と連携を図りながら新規就農者を適切に指導・助言する次世代の担い手として育成するため、「但馬次世代担い手講座」を開設し、1年ごとに修了者を輩出

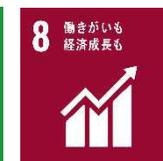
4 沖合漁業船員の育成および定着促進 (8,835千円)

沖合漁業に就労を希望する新規就業者を広く募集し、その育成と定着を促進するため、定着率をあげる活動を支援

基幹道路ネットワークの整備（土木部）

- 北近畿豊岡自動車道の整備促進
- 山陰近畿自動車道の整備推進[令和7年度 竹野道路本工事着手]

II 安全・安心で人と自然にやさしい生活環境 の構築



暮らしを守る基盤の充実・強化

1 地域医療構想の実現と推進

(111千円)

但馬圏域の効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するため、病院間連携のための協議、医療機関による自主的取組への支援

2 社会的処方及び重層的支援体制の整備による地域共生社会の推進

(482千円)

- (1) 市町の重層的支援体制整備の実施の推進
- (2) 医療機関等への働きかけ
- (3) 地域資源開発をする社会福祉協議会、福祉事業者向けへのアプローチ
- (4) 社会的処方を実施するケースワーカーへのアプローチ

3 高齢者のニーズに応じた社会参加の場づくり事業

(778千円)

- (1) 検討会議・ニーズ調査の実施
- (2) モデル地区による多様な社会参加の場の創設
- (3) 市町への展開を支援

4 「たじま福祉交流・連携エリア」プロジェクトチーム事業

(402千円)

特別支援学校の開校に向け、プロジェクトチーム(PT)において、エリア内で多様な福祉連携の方策等について検討

5 但馬地域鉄道利用の促進

(540千円)

(1) アクションプログラムの着実な推進

- ア 交流人口の拡大による利用促進
(駅前レンタサイクル補助)
- イ 利用意識の醸成
(JRハイキング造成モデル事業)

(2) 但馬地域における鉄道の魅力発信による利用促進 「車両基地見学会」の実施



新規

II 安全・安心で人と自然にやさしい生活環境の構築



暮らしを守る基盤の充実・強化

拡

6 地域防災力の充実・強化

(1,763千円)

- 新規** (1) 防災授業の共催
豊岡市が開催する防災授業を共催し、防災教育の一環として生徒へ災害時非常食を試供
- 新規** (2) まちあるき事業及び防災パネル展示への誘客
復興建築群まちあるき事業及び災害写真展への誘客のための事業を実施
- (3) 関連広報の実施
新聞折り込み及び市内小学校へのチラシ配布による広報を実施

7 但馬の住まいの耐震化促進

- 市町が行う耐震化への取組を支援



日本海津波対策の推進（土木部）

- 切迫する大規模地震による津波に備えるため、発生頻度を踏まえた2つのレベルの津波を対象に、防潮堤の嵩上げや水門整備などの津波対策を計画的に推進
【主な事業箇所】柴山港海岸（香美町） 防潮堤整備

II 安全・安心で人と自然にやさしい生活環境の構築



人と自然が共生する但馬の実現

1 コウノトリも棲める郷づくりの推進

(843千円)

(1) コウノトリ野生復帰の環境整備

- ア コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の開催
- イ コウノトリ営巣用人工巣塔設置への支援

(2) コウノトリ野生復帰PR事業の推進



2 新潟県との連携（コウノトリとトキの野生復帰・環境創造型農業の推進）による情報発信と交流促進

(500千円)

新潟県との連携による情報発信と交流促進

- ア 小学生対面学習等の支援
- イ 農業者間技術交流の促進

3 但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援

(1,459千円)

- (1) 環境保全等の活動への支援
- (2) 自然環境再生・啓発事業
- (3) 環境フェスティバルの開催



4 ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業

(2,287千円)

- (1) 田結湿地等の調査・保全活動
- (2) 活動発表会の開催

5 クリーン但馬10万人大作戦の推進

(565千円)

- (1) 地域住民と一体となった不法投棄防止対策の推進
- (2) 海岸漂着ごみ対策の推進

6 清流の郷づくり大作戦

(80千円)

- (1) 各河川の清流の郷づくり協議会への運営支援
- (2) 各協議会の活動報告を目的とした活動誌の作成補助

7 野生鳥獣被害対策の推進

(128千円)

(1) シカの市町連携捕獲の実施

有害捕獲実績状況を基に捕獲エリアを設定し、市町連携により捕獲班の編制等の調整を行い、銃猟捕獲を実施

(2) 水系単位によるカワウ対策体制の実施

水系ごとに関係市町や内水面漁協と連携し、捕獲や調査を実施

Ⅲ 次世代につなぐ人づくり・地域づくり



良好なコミュニティ形成による地域活性化

1 但馬U・Iターン400人大作戦の展開

(9,000千円)

(1) U・Iターン促進拠点「たじま暮らしサポートBASE」の運営

- ア 専門の移住相談員による住まいや仕事探し相談
- イ WEBや移住イベント等、多様なチャンネルを活用した情報発信
- ウ 移住希望者の要望に対応する「オーダーメイドツアー」
- エ 「オール但馬」として5市町連携のハブ

(2) 人材不足分野へのU・Iターン促進

- ア 地元事業者と連携した「たじま仕事×暮らし体験ツアー」
- イ 多様な分野の機関と連携した移住希望者への情報発信

(3) 地域を担う若者のUターン促進

- ア 若者が運営・交流するコミュニケーションメディアの運営
- イ 新成人無料撮影会の開催

(4) 移住者が移住者を呼ぶ環境づくり

- ア 移住者交流会による移住者ネットワーク構築と移住後のフォローアップの強化
- イ 既移住者に直接会って体験や暮らしを聞ける「先輩移住者マップ」の更新

(5) 移住者による空き家活用の促進

- ア 管内と都市部での空き家相談会の開催
- イ 移住希望者への市町空き家バンク物件紹介
- ウ 空き家の活用促進に向けた情報交換会の開催



2 地域活動応援事業の推進

(8,064千円)

但馬地域ビジョン2050がめざす未来の姿の実現に向け、地域の活性化や課題解決に取り組む団体の活動を支援する。

3 地域の見守りカアアップ作戦

(335千円)

- (1) 但馬の青少年を見守る「ひと声運動」の実施
- (2) 青少年非行に対する地域の危機意識醸成のためのキャンペーン実施
- (3) 適切なインターネット利用への啓発活動



Ⅲ 次世代につなぐ人づくり・地域づくり



良好なコミュニティ形成による地域活性化

4 安全安心で住みよい但馬の農村(むら)づくり

(80千円)

(1) 棚田保全活動会員の募集

農作業の手助けを継続的に行う個人・企業等の棚田保全活動会員の募集

(2) 保全活動の実施・広報

ボランティア参加型の保全活動の効果的実施や新たな会員の募集に向け、啓発用のPR動画等を作成

(3) 保全活動の継続・拡充

ボランティア参加と専門家による話し合いを実施し、継続的に活動に参加できる人員の確保等について検討

5 但馬牛がいるむらづくり支援事業

(500千円)

畜産農家誘致による過疎集落の活力維持に向けて、放牧や畜舎利用等の集落の土地利用計画を提案するなど、候補集落の意識を醸成



6 県民局広報・広聴の強化事業

(4,910千円)

但馬県民局広報・広聴活動における情報発信、収集業務

III 次世代につなぐ人づくり・地域づくり



郷土愛を育む歴史・文化の振興と活用

1 但馬地域ビジョン2050の推進

(3,853千円)

(1) 但馬地域ビジョン2050の普及啓発

- ア 出前講座の実施
- イ ホームページによる情報発信・PR
- ウ 広報推進員の設置

(2) たじま交流フェスタの開催

地域の未来を考え話し合う、たじま交流フェスタの開催

2 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進

(10,364千円)

- (1) 豊岡演劇祭2025への支援
- (2) 芸術文化施設・イベント情報発信事業

3 豊岡復興建築群の魅力発信

(1,225千円)

(1) 歴史的価値の普及啓発

- ア 豊岡復興建築群の情報発信
- イ 中学校や高等学校での出前講座の実施

(2) 復興建築を活用した地域活性化

- ア 復興建築群まち歩き（スタンプラリー）の開催
- イ 復興建築群でのイベント



4 但馬の歴史と物語を生かした新しいまちづくり

(5,000千円)

北但大震災から100年を迎え復興建築群を巡るプログラム開発等に取り組む

(1) 謎解きプログラムの開発

- ア 謎解きシナリオの作成
- イ WEBサイトの作成
- ウ 謎解きキットの企画設計（オリジナルポーチ、謎解きマップ、ショップ優待券など）

(2) 謎解きイベントの運営

イベントのモデル実施（モデル実施でキットを無料配布）





兵庫県但馬県民局